

社会（1年歴史） 評価計画

①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度

指導単元	観点	単元の評価規準 学習評価表	具体的評価目標 おおむね満足 B	評価方法 場面
第1部歴史のとらえ方と調べ方 第1節 歴史の流れと時代区分 第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた	① ② ③	①年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解させる。 ①資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けてさせる。 ②時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現させる。 ③過去を継承しつつ、現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	①小学校で学習した内容をもとに課題を追究したり解決したりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解し、資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。 ②③小学校での学習を踏まえて、歴史上の人物や文化財、出来事などと時代区分の関わりなどについて考察し表現し、主体的に追求しようとしている。	ワークシート 小テスト・レポート等 定期試験 学習ドリルソフットの活用 授業観察 提出物 発表
第2部歴史の大きな流れと時代の移り変わり 第1章 古代国家の成立と東アジア 第1節 人類の登場から文明の発生へ 第2節 東アジアの中の倭（日本） 第3節 中国にならった国家づくり	①、 ②、 ③	①世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解させる。 ①日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。 ①律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解させる。 ①仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを	①世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。 ①日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。 ①律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。 ①仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としなが	ワークシート 小テスト・レポート等 定期試験 学習ドリルソフットの活用 授業観察 提出物 発表

<p>第4節 展開する天皇・貴族の政治</p>	<p>基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解させる。</p> <p>②古代文明や宗教が起こった場所や環境，農耕の広まりや生産技術の発展，東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。</p> <p>②古代までの日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現させる。</p> <p>③古代までの日本について，よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>ら文化の国風化が進んだことを理解している。</p> <p>②古代文明や宗教が起こった場所や環境，農耕の広まりや生産技術の発展，東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>②古代までの日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③古代までの日本について，よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	
<p>第2章 中世武家政権の成長と東アジア</p> <p>第1節 武士の世の始まり</p> <p>第2節 武家政権の内と外</p>	<p>①、②、③</p> <p>①鎌倉幕府の成立，元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に，武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し，その支配が広まったこと，元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解させる。</p> <p>①南北朝の争乱と室町幕府，日明貿易，琉球の国際的な役割などを基に，武家政治の展開とともに，東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解させる。</p> <p>②武士の政治への進出と展開，東アジアにおける交流，農業や商工業の発達などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現させる。</p> <p>③中世の日本について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>①鎌倉幕府の成立，元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に，武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し，その支配が広まったこと，元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。</p> <p>①南北朝の争乱と室町幕府，日明貿易，琉球の国際的な役割などを基に，武家政治の展開とともに，東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。</p> <p>②武士の政治への進出と展開，東アジアにおける交流，農業や商工業の発達などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>③中世の日本について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>ワークシート 小テスト・レポート等 定期試験 学習ドリルソフトの活用 授業観察 提出物 発表</p>